

2021年(令和3年)度

日本近代文学会関西支部春季大会

2021年6月5日(土) 11:00~ オンライン開催 (zoomウェビナー使用)

展示:6月11日(金)~12日(土) 13時~17時まで(於大阪市立大学)

開会の辞

日本近代文学会関西支部 支部長 佐藤 秀明

zoomウェビナー使用について

自由発表

芥川龍之介「尼提」の典拠と主題 大阪大学大学院 高子瑜

小特集

これからの「羅生門」——資料と国語教育の観点から——

趣旨説明・司会 磯部 敦・荒井 真理亜

国語教材「羅生門」の来歴 近畿大学 中田 睦美

高校国語教材における「羅生門」の可能性

——これまでの「羅生門」、これからの「羅生門」——

鴨沂高等学校 岩崎 俊之

〈羅生門〉と小説家芥川龍之介の生成

近畿大学名誉教授 浅野 洋

【講演】

【発表】

展示の案内

大阪市立大学 奥野 久美子

閉会の辞

日本近代文学会関西支部 支部長 佐藤 秀明

【特別展示】

恒藤恭旧蔵芥川龍之介関連資料等

6月11日~12日

・会場 大学史資料室・恒藤記念室展示(仮)(大阪市立大学学術情報センター6階)

・時間 十三時から十七時まで(事前申込制)

※特別展示会場.. 大阪市立大学(大阪市住吉区杉本三三三三三三八 杉本キャンパス)

※大会参加ならびに特別展示閲覧の方法につきましては、関西支部ホームページ

「二〇二一年度春季大会参加」および「特別展示」の項目から手続きください。

◇『倫敦塔』研究の可能性を呈出する一冊
鳥井正晴・宮蘭美佳・古浦修子 編

『倫敦塔』論集 漱石のみた風景
新刊 A5上製・680頁・13200円

◇虚偽を糾す正義感と時流に迎合しない批判精神
網倉 勲 著

水上瀧太郎の文学
サラリーマン小説の誕生
A5上製・352頁・6600円

◇文学は文壇作家の小説の中だけにあったのではない
永瀧 朋枝 著

無名作家から見る日本近代文学
島崎藤村と『処女地』の女性達
A5上製・368頁・5940円

◇国際派詩人、野口米次郎の前半生をたどり、
その時代性を捉える。
堀まどか 著

野口米次郎と「神秘」なる日本
新刊 四六並製・216頁・1760円

◇結婚を相対化する主体と親密性の実践を
文学作品より抽出
泉谷 瞬 著

結婚の結節点
現代女性文学と中途のジェンダー分析
近刊 四六上製・336頁・3960円

有限会社和泉書院

〒543-0037 大阪市天王寺区上之宮町七-六

電話 〇六六七七-一四六七
FAX 〇六六七七-一五〇八

※定価は10%税込

日本近代文学会 関西支部 事務局

〒559-0033 大阪市住之江区南港中 四丁目四-一

相愛大学 人文学部

荒井真理亜研究室内

電話 (〇六) 六六一二-一六二四七

(人文学科合同研究室)

Email: kindaikansai@gmail.com